

審査部

※第49回バトントワーリング関東大会基本実施要項を熟読され、規則に従った方法で演技を行ってください。

1. 演技について

出演時間に間に合わない団体は、審査対象外とする場合もある。
※審査対象外でも審査用紙は返却する。

2. 登録引率者・器物搬入搬出補助員について

- (1) 登録引率者は、出場メンバー30名以下は3名まで申請することができる。
※音響の合図を行う1名を含む。
出場メンバーが10名増えるごとに1名の登録引率者を申請することができる。
【未就学の部】【U-12の部】のポップアーツ編成は器物搬入搬出補助員を3名まで申請できる。
- (2) 全ての構成において、登録引率者・器物搬入搬出補助員は演技フロア内での搬入搬出補助を禁止とする。
演技中は指定の席で待機し、退場ライン先の演技ライン通過後の搬出を敏速に行う。
- (3) 登録引率者は器物搬入搬出補助員を兼ねることができる。
※ ただし、【未就学の部】においては例外とする。

3. フロアに関する規定について

出演団体説明会で配布されたフロア図の内側で演技する。

4. 器物及び特殊効果の申請について

器物及び特殊効果を使用する場合は、出演団体説明会当日までに大会本部に連絡をして許可を得ること。
※申請の目安としては、フロアを汚す恐れがあったり、身体に危険を及ぼす可能性があるものと考えてください。また、国旗等の使用は敬意を損なわないようにすること。

5. 入退場について

構成メンバーは、アナウンスの「それでは入場してください」の合図に従って入場し、退場ラインを通過して退場すること。

6. 計時・演技・審査時間について

- (1) 演技時間の計時は、入場の合図をした時点からすべての出場メンバーと器物が退場ラインを通過した時点とする。
【未就学の部】【中学校の部】【U-12の部】 4分
【高等学校の部】【U-18の部】【OPENの部】 4分30秒
- (2) 審査時間の計時は、使用曲の第1音から最終音までとする。
【未就学の部】【中学校の部】【U-12の部】 3分過不足15秒とする。
(2分45秒～3分15秒)
【高等学校の部】【U-18の部】【OPENの部】 3分30秒過不足15秒とする。
(3分15秒～3分45秒)

7. 成績・成績判定・表彰について

- (1) 第42回バトントワーリング全国大会の審査要領・審査規定に基づき、審査員が、「全体的効果」「作品完成度」「パフォーマンス」をキャプション毎に審査し、得点とコメントを審査用紙に記載する。

(2) 全出場団体に金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。

【中学校の部】 【U-12の部】

金賞 80点以上

銀賞 65点以上80点未満

銅賞 65点未満

【高等学校の部】 【U-18の部】 【OPENの部】

金賞 85点以上

銀賞 70点以上85点未満

銅賞 70点未満

※全国大会推薦団体には、得点に関わらず金賞を授与する。

※【未就学の部】は、総合的に講評する。

(3) 各部門、各部、各編成において最高得点の団体には、特別賞を授与する。

(4) バトン編成において、演技中1本もバトンを落とさず演技した団体にはノードロップ賞を授与する。

8. 全国大会推薦について

中学校の部 7団体 (バトン：6, ポンポン：1)

高等学校の部 19団体 (バトン：14, ポンポン：5)

未就学の部 1団体 (ペップアーツ：1)

U-12の部 10団体 (バトン：8, ペップアーツ：2)

U-18の部 6団体 (バトン：5, ペップアーツ：1)

OPENの部 7団体 (バトン：5, ペップアーツ：2)

・全国大会への推薦は全国大会推薦枠に従い、成績優秀団体を全国大会に推薦する。

*但し、全国大会に推薦された団体は自動的に人数編成区分に振り分けられる。

9. 審査用紙の受け渡しについて

閉会式終了後、審査用紙等を渡しますので、参加団体の責任者は必ず受け取ること。

<審査員長>

田中よりこ

<審査員>

大越さとみ・大越多美子・片山めぐみ・加藤政広・木下真里・栗田綾子・古谷野千代子・
夏田智子・仁川和美・和田昌美

<審判員>

阿部文子 坂本ゆうき 小澤ゆみ

<講評員>

内田圭子・木下真里

(敬称略)

	中学校/U-12	高等学校/U-18	OPEN
全体的効果	20%	25%	30%
作品完成度	60%	50%	40%
パフォーマンス a. ステージング/コンビネーション b. 手具/ボディーワーク	20%	25%	30%